

Der Wind

(風)

『ワイマール独日協会一行来訪』

9月号でお知らせしました、湘南日独協会と姉妹提携のワイマール独日協会より23名が来訪します。一行は11月10日ワイマールを発ち、高野山、京都、金沢、越後湯沢を訪問後、17日藤沢着、2泊3日の滞在です。17日は非公式な歓迎夕食会が予定されてます。

18日は前号でのお知らせの通り、鎌倉市長訪問、浄智寺での、香道・茶道・流鏑馬の日本文化体験、高德院鎌倉大仏での見学とお茶の接待を受け、18時からはクリスタルホテルで、駐日ドイツ大使ハンス・カール・フォン・ヴェアテルンご夫妻を迎えての歓迎・交流会となっています。

19日は西鎌倉小学校を訪問、その後報国寺を見学東京へ移動の予定です。ドイツへの離日は22日の予定です。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

『かまくら国際交流フェスティバル

2014へ参加』

鎌倉国際交流フェスティバルが10月13日に高德院（鎌倉大仏）で開催されました。湘南日独協会も、大型液晶テレビで協会設立からの歩みや例会、ドイツ語講座などの多彩な活動をスライドショー形式で紹介しました。会場では、軽快な音楽でひととき目を引き、多くの方々が協会のブースで足を止められました。

また、地元鎌倉のカフェ「はたるのこみち」で手作りのドイツ菓子で親しまれている会員の林様のご協力を得て、焼き菓子も販売しました。こちらも大好評で用意したケーキはすぐに売り切れとなりました。

会員の鬼久保洋治さん率いるアルプホルン演奏団体「ダンケシェーン」も登場しました。アルプホルンやカウベルが奏でるのどかな調べが古都の大仏や取り囲む緑の木立とみごとに調和し、訪れた世界の人々から大きな拍手を受けていました。（昔農）

（会場・ブースの様子は次頁に写真を掲載しています）

湘南日独協会の活動予定

■ Singen wir zusammen! 歌で楽しむドイツ語 第24回

日時 11月16日（日） 15:00～16:30

会場 藤沢商工会館 507号会議室

会費 1,000円

■ 11月例会

ワイマール独日協会歓迎・交流会

日時 11月18日（火） 18:00～20:00

会場 湘南クリスタルホテル

■ Schwatzerei am Stammtisch 第4回

日時 11月25日（火） 15:00～17:00

テーマ 「外国人 (Auslaender)」

ー外国に住んでの外国人としての体験ー

ー外国人として日本に住む現実ー

藤沢商工会館 506号会議室

会費 1,000円

申込 木原 Tel 0466-28-9150 先着順

■ 12月例会

望年会 音楽：中国琴とドイツ菓子を楽しむ会

日時 12月20日（土） 15:00～17:00

会場 湘南アカデミア（江ノ電第2ビル7F）

会費 2,000円

■ 年次総会開催

日時 1月25日（日） 13:00～14:00

会場 江ノ電第2ビル7F（湘南アカデミア）

■ 1月例会 上記総会終了後同じ会場で14時より映画会を予定しております。詳細は次号でお知らせします。

■ Singen wir zusammen! 歌で楽しむドイツ語 第25回

日時 1月18日（日） 15:00～16:30

会場 藤沢商工会館 507号会議室

会費 1,000円

新入会員紹介

敬称略

佐々木 久詞 紀藤 明子

森田 博之

10月例会 講演会

「織田幹雄は世界人」 織田正雄氏

会員 勝亦正安

今回は、1928年第9回アムステルダムオリンピック三段跳で、日本初の金メダルを獲得した織田幹雄について、そのご子息から直接話が聞けるという幸運な講演会でした。淡々と、しかしユーモアを交えた語りを聞き入る内、織田幹雄の偉大さと、些か耳慣れない表題の「世界人」の意味が明らかになります。

幹雄は、スポーツの才能に恵まれてだけでなく、努力と勉強の人と知りました。旧制中学1年の時校内8マイルマラソンでの優勝を皮切に、数々の活躍がその練習振りと共に注目され、18才以降極東選手権大会に4回出場、すべて優勝しています。しかし、1924年(17才)パリ・オリンピックの際、他国選手との差が大きいことを知り、相手から学ぶことと練習に集中したようです。

織田幹雄が陸上競技を始めた頃は、指導書も解説書もなく、アメリカから文献を取り寄せ、辞書を引ながら勉強したそうです。また、アムステルダム五輪での2年前から、各国選手の跳び方、着地、走方等々を研究、円盤投げや砲丸投げの他競技も練習し、これら研究結果と記録を毎日書き記した日記が残されています。

極東大会、オリンピックで、幾多の外国人と競い、言葉を交しながらも織田幹雄には外国人を異人と見る差別意識が全く無く、競技仲間と認識していたようです。現在より遥かに強く国を意識せざるを得なかった当時、極めて稀有な事と思われます。

本題に戻ります。世界人と国際人はどう違うのでしょうか。正雄氏の話から、日本人が日本と言う国籍を背負って海外で何かを行うとすれば、それは国際人であり、国籍に捉われず、国の為でもなく個人として海外で活動すれば、それは世界人であると私は理解しました。この思想を早稲田大学在学中に学んだと幹雄は書いていますが、正雄氏は、本人はそれ以前から意識していたと述べています。

生い立ちが関係しているようです。生地広島は和歌山と並びアメリカへの移民が多く、幹雄の次兄は幹雄が中学の頃アメリカへ移住し、32年ロスオリンピックの際、兄夫婦がロスの岸壁に出迎えてくれた由。



かまくら国際交流

フェスタの会場

松尾鎌倉市長、外国人
将来の会員候補、お菓子
提供の林さんとお孫さん
ダンケシェーンの演奏
賑やかなブース風景です



織田正雄氏

黒板を使用しての講演

戦前から優れた競技者として世界に知られた織田幹雄は、戦後も各国から指導コーチとして招かれ、世界人の思想を実践します。

東京オリンピックの時、オリンピック村近くのレストランを個人で借り切り、各国のコーチが自由に飲みそして食べ、意見交換を行える場を提供しました。98年93才で没するまでコーチとして訪れた国は40ヶ国以上と言います。

織田幹雄の理念は、子供達へ伝えられ、また立派に継承されています。中学の頃正雄氏が父幹雄から貰った壺には「世界人たるべし」と書かれていたそうです。また、子息正雄氏は、米国スタンフォード大学に交換留学、更にドイツ政府奨学生としてベルリン工科大学にも留学、卒業後は東京銀行ハンブルグ支店を歴任されました。

紛争がなお絶えない現下の世界情勢を思うに、世界人織田幹雄の理想が、スポーツ関係者のみならず、各国為政者により正しく理解され、平和実現に向け広まって欲しいと願う次第です。



オクトーバーフェストで大フィーバー
会員 内田 進

「藤沢のホーフプロイハウスへようこそ」 司会の峯松さんの明るい声に誘われて、扉を一步入った所は”アレー？ここはどこ？ミュンヘンのビアホール？それともシュツットガルトのビールフェスト？”・・・・・・ご婦人方はドイツの民族衣装に身を包み、男たちは派手なカラーシャツ。挨拶はグルスゴット（こんにちは）、掛け声はアインス、ツボー、ゲズファー、・・・・・・エーデルワイストリオの刺激的な演奏が出席者を興奮の渦へと導き、その賑やかなこと！楽しいこと！心ウキウキ、体もウキウキ。飲むわ！飲むわ！歌うわ！踊るわ！進行役のカウフさん、ガイアさんも舵取りに汗だくの大奮闘！



いつもは美しいハーモニーをモットーとする合唱団アムゼルもアルコールの力を借りて元気一杯、思わずフォルテシモ！！会場からアンコールの声しきり。

鈴木藤沢市長は挨拶で、「藤沢はドイツ人の好きな豚の数とワインの生産量が日本一です」と市のPR。会場の盛り上がりで時間オーバーしてご出席。また、ドイツ大使館の皆さんもアットホームな雰囲気の中で、日頃の緊張がほぐれ、ヒートアップ・・・・・・。



会場の様子

右上 ドイツ大使館
フォン・リムシャ公使
と鈴木藤沢市長

下 梶井龍太郎先生と
アムゼルの仲間後方の
向かって左が内田進氏



織田湘南日独協会会長いわく「今回は16回目のオクトーバーフェストですが、年々お祭りが盛大になっています」と。

真に、ドイツの農民のお祭りにふさわしく、底抜けに陽気で、参加者全員が昔から知り合いのように、共に楽しめたフェストだったと思います。藤沢でこんなに楽しく飲んで、歌って、踊れる集まりは、他に無いと思います。来年のフェストが今から待ち遠しく感じます。この度参加されなかった方も、是非来年、藤沢のホーフプロイハウスへお越し下さい。一緒に楽しみましょう。



演奏会のご案内

☆☆ ピアノ・デュエットへの誘い

一名曲でつづるピアノアンサンブルの魅力ー

脇本美恵子 西川麻里子

2014年11月23日(日)

14:00開演(13:30開場)

藤沢リラホール

プログラム:

ベネット 4つの小品

メンデルスゾーン デュエット Op.92

ブラームス ハイドン・ヴァリエーション Op.56b

モーツァルト 2台のピアノのためのソナタ Kv448

ラヴェル ラ・ヴァルス

一般 3000円 学生2000円

お問合せ 西川 0467-32-6506

.....

☆☆ クリスマスコンサート

松野美智子ヴァイオリン・リサイタル

2014年12月18日(木)

13:30開演(13:00開場)

ミューザ川崎シンフォニーホール市民交流室

ヴァイオリン 松野美智子

ピアノ 加納麻衣子

プログラム:

シューベルト ソナチネ 作品137-2

ベートーヴェン ヴァイオリン・ソナタ

題1番作品12-1

ドヴォルザーク ロマンティックな小品 作品75

スメタナ 我が祖国より

全席自由 2000円

お問合せ 松野 Tel&Fax 0467-32-7300

Japanische Gaeste Alphorntreffen



鬼久保洋治氏率いるアルプス音楽の「ダンケシェーン」は9月7日スイスのゼーベンアルプで開催された第5回アルプホルン世界大会へ特別招待

として参加し現地で大変話題になっています。

ダンケシェーンは例年鎌倉国際交流フェストに湘南日独協会を代表して出演しています。今年の模様は本紙に掲載しております。さらに今年は藤沢国際交流フェスティバル、11月9日にも演奏の予定です。スイスでの反響の様子は次のウェブサイトでご覧いただけます。

<http://www.alphorntreffen.ch/fotos.php>

ギゼリンデ 志賀さんの講演会



ギゼリンデ(リンデ)さんは10月11日(土)横浜市栄区の「横浜栄楽」シニアクラブに招かれ例会で「ドイツと日本について感じたこと」の題でパワーポイントを使用講演をしました。

日本へ来られた切っ掛けから、ご主人の転勤で日本の各地をまた香港での生活経験をもとに、幅広いテーマで話されました。ドイツの地理・風土・教育・社会の話があり、特にドイツ人と日本人の考え方の違いについて出席者は強い関心を持って聞いていました。質疑応答も多く最後まで熱い会場でした。

ダウシュ 三浦 ハンナさんの講演会



9月2日(金)葉山町国際交流協会で同町にお住まいのダウシュ三浦ハンナさんが講演をされました。テーマは「ドイツー今日の生活と人々」(やさしい英語講演会のシリーズとしての英語による講演でした)

内容はベルリンの壁崩壊による東西ドイツの統一への道のり、特に旧東独においては、25年経た現在でも旧西独に比し経済的に劣位にあり失業率も高い等の問題を抱えている。

社会一般としては多民族化が進みオープンマインド、自由主義傾向が強まり、若い人の価値観も多様化している。家族に対する考え方も変わり、伝統的な家族ではない結婚しない男女と子供の同居、パッチワーク・ファミリーと言われる新しい家族の形、同性婚等のパートナーシップの変化、高齢者の積極的社会参加、国民の15%が移民あるいは移民の背景を持つ現状の抱える、社会保障・健康保険・年金等の問題の存在など多岐にわたるものでした。

編集後記

今回は会員の皆さんの活躍ぶりをお伝えしました。ワイマール一行歓迎会も是非成功させましょう。寒くなりました体調に留意して下さい。(大久保)